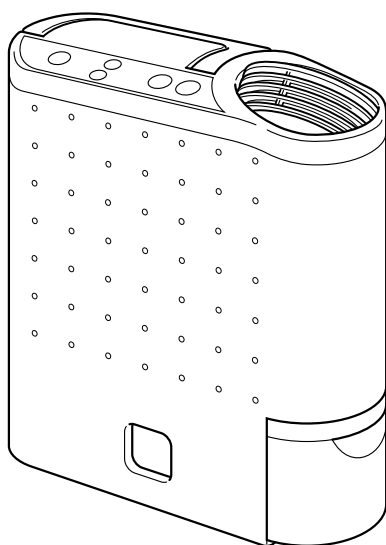
品番
AHE-A 型

タイガー
除湿乾燥機
（ノンフロンタイプ）

取扱説明書〈保証書つき〉

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

太陽光の除菌作用と同じOHラジカル
プラズマで除菌

日本国内100V専用
（交流100V以外の電源では使用できません）

もくじ

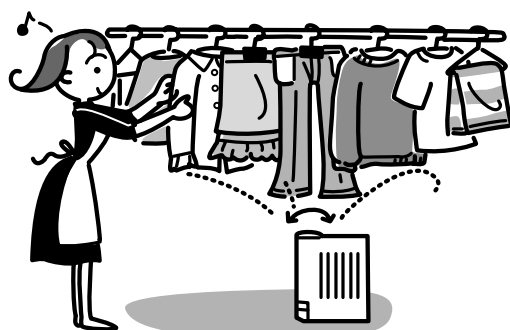
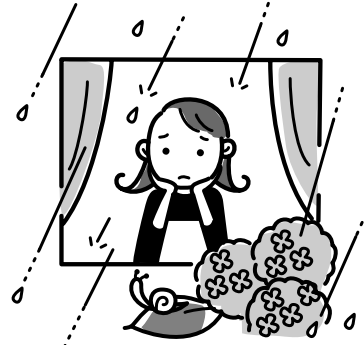
はじめに

使いかた

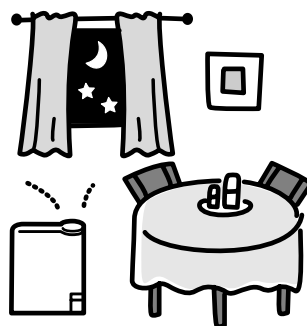
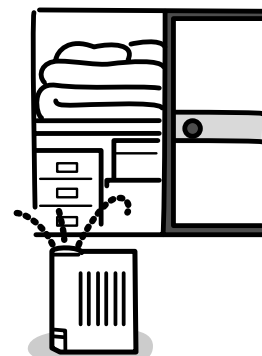
困ったときは

その他

除湿乾燥機を上手に使って、手軽に除湿・衣類乾燥をしましょう

衣類乾燥 モード
洗濯物を早く乾かしたいときに

部屋カビガード モード
カビの発生の予防に

静音 モード・**自動** モード
湿気を取り除きたいときに

- お部屋をさわやかな湿度に保ちたい

- 寒い時期の窓ガラスの結露を抑えたいときに
- 夜間にキッチンなどを除湿したいときに

- 畳やカーペットの乾燥に
- 押入れやクローゼットの除湿に

便利な機能

オフタイマーがセットできます P.13参照

外出中のお部屋の除湿や、おやすみするときのキッチンの除湿などに、オフタイマーをセットすると、自動的に運転が切れます。

使いやすい吹出口 P.10~13参照

吹出口の回転する角度が自由に設定できます。
また、回転を止めて吹出口を固定することができます。

※吹出部分は手動で角度調節してください。
（上下に約45°まで3段階に調節可能です。）

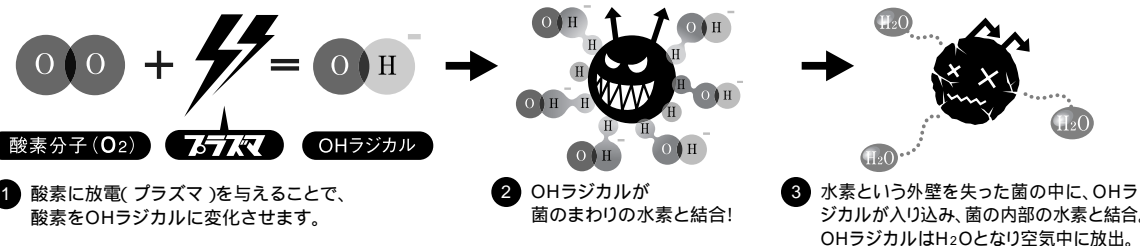
別売のふとん乾燥セットを使って、ふとん乾燥ができます P.14~16参照

マイナスイオンでお部屋をリフレッシュ

森林や高原など、自然界に豊富なマイナスイオン。運転中は、このマイナスイオンを電気方式で大量に発生させ、プラスイオンを中和します。

**太陽光の除菌作用と同じOHラジカルで菌の活動を抑制します。
さらにマイナスイオンでお部屋の空気もリフレッシュ。**

プラズマで除菌のしくみ ※このイラストはプラズマで除菌のしくみをわかりやすくイラスト化したものです。

1. 酸素に放電（プラズマ）を与えることで、酸素をOHラジカルに変化させます。
2. OHラジカルが菌のまわりの水素と結合!
3. 水素という外壁を失った菌の中に、OHラジカルが入り込み、菌の内部の水素と結合。OHラジカルはH_2Oとなり空気中に放出。

太陽光の除菌作用って？

太陽光線に含まれる紫外線には、強い除菌力があります。その紫外線がつくり出すOHラジカルには、《大気浄化》《脱臭》《除菌》などの作用があります。

●試験機関：財団法人 北九州生活科学センター

	試験成績書発行年月日	試験成績書発行番号
黄色ブドウ球菌	平成15年12月 9 日	第15113366-01号
表皮ブドウ球菌	平成15年12月16日	第15113367-01号

●試験機関：社団法人 京都微生物研究所

	試験成績書発行年月日	試験成績書発行番号
緑膿菌	平成16年 1 月 5 日	No.8135～8137
黒かび	平成15年12月15日	No.8034～8036

●試験方法：約400個の試験菌を塗抹した普通寒天培地にプラズマ「RK10-2-A3」*で除菌を25℃、4日間行った結果。
*「RK10-2-A3」は、除湿乾燥機内の除菌する部品名です。

除湿のしくみ
（ゼオライト方式）

冷媒（フロン）を使わない、除湿方式です。
お部屋の湿った空気の水分を、乾燥剤（ゼオライト）に吸着させ、乾燥した空気を吹き出します。
水分を吸着させたゼオライトは、ヒーターで加熱され水分を放出します。放出された水分は、熱交換器で水滴になり、タンクにたまります。

※ヒーターの熱を利用し、温風を発生させて除湿しますので、お部屋の広さや外気温などのご使用条件によって、室温が約3℃～8℃上がることがあります。
※本体に衝撃を与えたり、倒したりすると、ゼオライトが欠けて吹出口から白い粉が出ることがあります。

「各部のなまえとはたらき」は8ページ
「上手に使うポイントと運転モードの特長」は10・11ページをご参照ください

「故障かな？」と困ったときは、20～22ページをご参照ください

1 安全上のご注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

※お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するために必ずお守りください。
※本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。
※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

注意事項は、誤った使いかたで生じる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

⚠警告
「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示します。

⚠注意
「傷害を負う、または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の例

 この絵表示は行為を「禁止」する内容です。

（分解禁止）

● この絵表示は行為を「強制」したり、「指示」したりする内容です。

（強制・指示）

（差し込みプラグを抜く）

⚠警告

改造はしない。修理技術者以外の人は、分解したり、修理をしない。
火災・感電・けがの原因。

交流100V以外では使用しない。
火災・感電の原因。

定格15A以上のコンセントを単独で使用する。
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して、発火するおそれ。

電源コードは、破損したまま使用しない。また、電源コードを傷つけない。
（加工する・無理に曲げる・高温部に近づける・引っ張る・ねじる・たばねる・重いものを載せる・挟み込むなど）
火災・感電の原因。

差し込みプラグにほこりが付着している場合は、よくふき取る。
火災の原因。

差し込みプラグは根元まで確実に差し込む。
感電・ショート・発煙・発火のおそれ。

電源コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電・ショート・発火の原因。

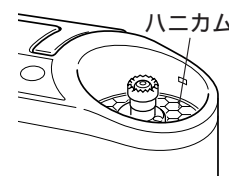
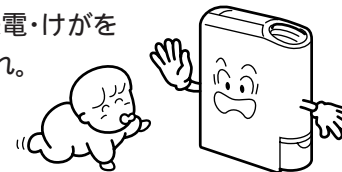
ぬれた手で、差し込みプラグの抜き差しをしない。
感電やけがをするおそれ。

差し込みプラグの抜き差しで運転や停止をしない。
発熱による火災や感電の原因。

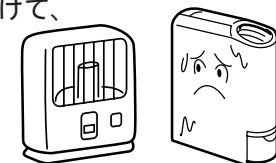
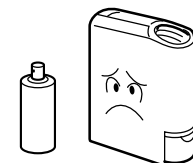
異常時（こげくさいなど）は、運転を「切」にして、運転が完全に止まってから差し込みプラグを抜く。
火災・感電・故障の原因。

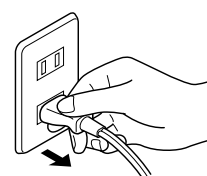
⚠警告

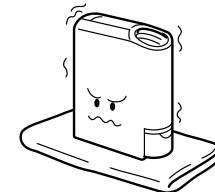
吸込口・吹出口・すき間に、指やピン・針金・金属物など異物を入れない。
内部でファンに触れ、感電や異常動作によるけが、故障のおそれ。

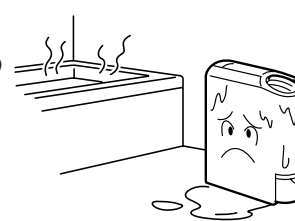
吹出口をはずして、中のハニカムに指を入れない。
けがや故障の原因。
ハニカム

子供だけで使わせたり、幼児の手が届くところで使わない。
やけど・感電・けがをするおそれ。

ふとん乾燥（別売）での使用中や使用直後は、ふとんの中に入らない。
やけどや、低温やけどの原因。

お手入れは、運転を「切」にして約2分後、運転が完全に止まった後、差し込みプラグを抜いてから行う。
運転を「切」にしても、約2分間は送風ファンが作動します。送風ファンが完全に停止していない状態でお手入れすると、けがや感電・故障の原因になります。

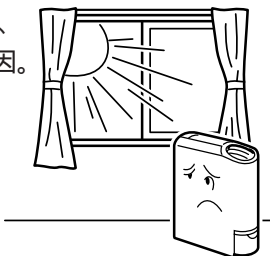
発熱器具の近くに設置しない。
樹脂部分が溶けて、引火するおそれ。

スプレーなどの缶を近くに置かない。
爆発や火災の原因。

⚠注意

必ず差し込みプラグを持って引き抜く。
感電やショートして発火するおそれ。

狭い場所（押し入れの中など）では使用しない。
風通しが悪くなり、発熱・発火の原因。

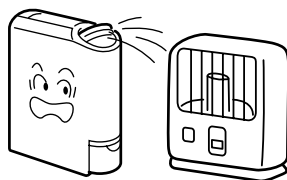
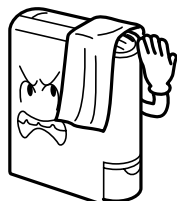
不安定な場所や、熱に弱い敷物の上では使用しない。
火災の原因。

床が水平で、丈夫な場所に設置して使用する。
倒れると、水がこぼれて家財などをぬらしたり、火災や感電、故障の原因。

水のかかりやすい場所（風呂場・流し台付近など）で使ったり、水をつけたり、水をかけたりしない。
感電や漏電、火災・故障の原因。

⚠注意

本体をふとんの中に入れて使わない。
過熱して、火災の原因。

直射日光、雨風の当たる場所では使用しない。
過熱などによる、火災・感電の原因。

油・可燃性ガスのもれるおそれのある場所で使用しない。
火災や感電の原因。

美術品や学術資料の保存など、特殊用途には使用しない。
保存品の品質低下の原因。

吹出口からの風が直接当たる所で燃焼器具を使用しない。
燃焼器具の不完全燃焼の原因。

吸込口や吹出口を、布やふとんなどでふさがない。
風通しが悪くなり、発熱・発火・故障の原因。

上に乗ったり、腰掛けたりしない。
けがや故障の原因。

長時間連続して使用するときは、定期的に点検する。
過熱や水漏れの原因。

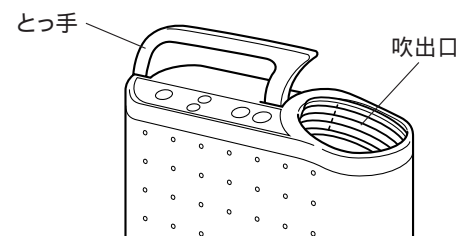
除湿水を飲料用・飼育用などに使用しない。
健康を害するおそれ。

本体を水洗いしない。
感電の原因。

花瓶など、水の入った容器を上に乗せない。
水がこぼれて中に入ると、火災や感電の原因。

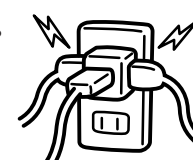
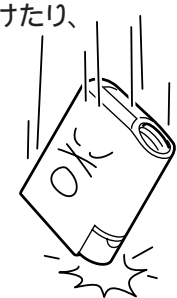
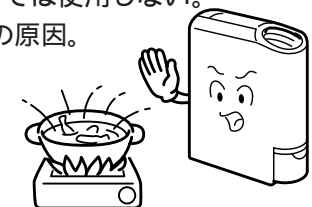
次のような方がお使いになるときは、特に注意する。
・乳幼児やお子様
・お年寄り
・自分で湿度調節のできない方。
運転中に熱を発生させるため、室温が上昇し、風を体に直接当てたままで長時間使用すると、体調をくずしたり、脱水症状を起こす原因。

⚠注意

吹出口を持って持ち運ばない。
本体が落下して、けがの原因。持ち運ぶときは、必ずとっ手を持って行うこと。

移動させるときは、運転を「切」にし、運転が完全に止まってからタンクの水を捨てた後に行う。
中の水がこぼれて、家財などをぬらしたり、感電や漏電火災の原因。

薬品を扱う場所（病院・実験室・美容院・工場など）で使用しない。
空気中に揮発した薬品や溶剤によって除湿乾燥機が劣化し、除湿した水が漏れて家財などをぬらす原因。

長期間使用しないときは、差し込みプラグをコンセントから抜く。
感電や漏電火災の原因。

タコ足配線はしない。
火災のおそれ。

倒したり落したりぶつけたり、強い衝撃を与えない。
故障のおそれ。

火気の近くでは使用しない。
変形・故障の原因。

運転中に吹出口の取りはずし・取りつけをしない。
けがや故障の原因。

吹出口が回転しているときは、吹出部分を手で角度調節しない。
けがをするおそれ。調節するときは、必ず 回転 キーを押して、回転を止めて（スポットランプ点灯）から行うこと。
（P.12・13参照）

革製品の乾燥などに使用しない。
変形・変質の原因。

説明マークについて

本文中に記載されている説明マークは、下記の意味があります。

上手に使用していただくためや、商品を末永くお使いいただくためのご注意を記載しています。

2 各部のなまえとはたらき

前面

●とっ手
持ち運ぶときに使います。

●吹出口
回転する角度が自由に設定できます。また、回転を止めて吹出口を固定することができます。
※吹出部分は手動で上下に約45゜まで3段階に調節可能です。
（P.12・13参照）

●電源コード

●差し込みプラグ

●水位窓

本体

●タンクふた

●タンクとっ手

●タンク

●フロート

背面

●吸込口

●つまみ

●フィルター
抗菌剤を添着していますので、フィルターで捕集した菌の繁殖を抑えます。
※必ず取りつけてご使用ください。

〈操作パネル部〉

360°ランプ　静音ランプ　スポットランプ　[回転]キー　自動ランプ　満水/タンクなしランプ

ion　1　3　6（時間）　オフタイマー　吹出し口 360°　スポット　回転　角度設定　角度　静音　自動　衣類乾燥　部屋カビガード　運転切替　満水 タンクなし　入/切

[入/切]キー
※電源の入/切をします。

タイマーランプ　角度設定ランプ　衣類乾燥ランプ

[オフタイマー]キー　[角度]キー　部屋カビガードランプ　[運転切替]キー

3 設置のしかた

⚠注意　吸込口や吹出口を、布やふとんなどでふさがない。

壁や家具などから、右図の距離を離し、水平で丈夫な場所に設置してください。

60cm以上
吹出口
吸込口（背面）
20cm以上
50cm以上
50cm以上
50cm以上

テレビ・ラジオなどからは、1m以上離してご使用ください。
近づけて使用すると、映像が乱れたり、雑音が入ることがあります。

上手に使うポイントと運転モードの特長

運転モードは、「静音」「自動」「衣類乾燥」「部屋カビガード」が選べます。

運転モード		このようなときにおすすめ	特長とポイント
除湿運転	静音	**静かに除湿したいとき** ■例えば・・・ 夜間のキッチンの除湿や、畳・カーペット・押入れの除湿などに	●風量「弱」で、連続で除湿運転をします。 ●押入れやクローゼットの除湿をするときは、吹出口を押入れ（クローゼット）に向けて除湿しましょう。 ※運転していても、外気に面した窓ガラスが結露することがあります。
	自動	**快適な湿度を保ちたいとき**	●部屋の湿度を約55％に保つために、自動的に風量を調整します。
衣類乾燥		**衣類などを乾燥したいとき**	●衣類の乾燥時間の目安は、約4～6時間です。（夏場で衣類の量が約4.0kgのとき） 当社試験での乾燥時間は、約82分です。 【試験条件】運転モード：「衣類乾燥」、部屋の広さ：6畳相当、温度：20℃、湿度：70％、60Hz、衣類の量：2kg相当（Tシャツ3枚、Yシャツ2枚、パジャマ1組、下着7枚、靴下2足、タオル3枚） ※実際に使用するときの衣類乾燥時間は、使用環境や使用条件によって異なります。 ※湿った部屋ほど乾きが遅くなり、乾いた部屋ほど速く乾きます。また、洗濯機の脱水能力や建物の条件によって、乾燥時間は変わります。 ※冬期は、夏期よりも乾燥時間が長くかかることがあります。 ※革製品（コート・かばん・靴など）には、使わないでください。変形・変質の原因になります。
部屋カビガード		**カビを抑えたいとき**	●部屋の湿度を約45％に保つために連続で運転し、カビを抑えます。 ※部屋カビガード運転をしても、風通しの悪い場所（家具の裏など）では、カビが発生することがあります。
ふとん乾燥（別売）		**ふとんを乾燥したいとき**	●別売のふとん乾燥セットを使います。 ●「静音」モードを選び、オフタイマーを1時間にセットして、ふとん乾燥をします。 **※1時間経過後、自動的に運転を停止するように、必ずオフタイマーを1時間にセットして乾燥させてください。**

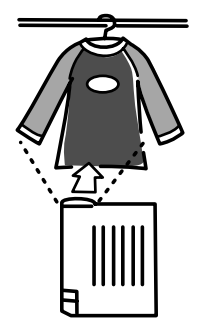
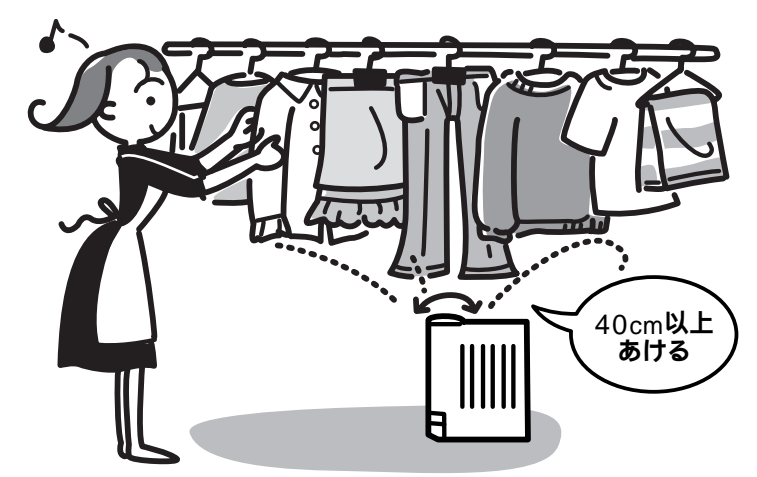
※運転を開始してから36時間を超えると、安全のため自動的に運転を停止します。（P.20参照）

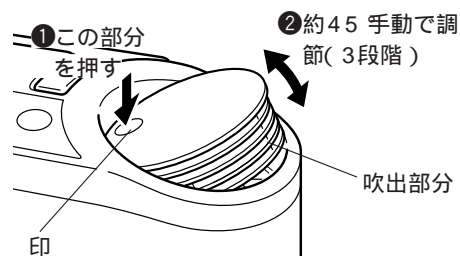
使うときは

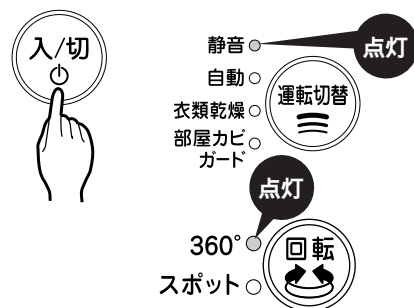
●運転可能な部屋の湿度は約20％以上です。（湿度が約20％以下の場合、安全装置が作動して運転が停止することがあります。）
●除湿可能面積の目安は、22ページをご参照ください。
●室内の温度や湿度が低くなるにつれて、除湿量は少なくなります。
また、運転中は熱を発生しますので、外気温や部屋の広さによって室温が約3～8℃上がることがあります。
●屋内で使用してください。
●運転中は、部屋の扉や窓の開閉をできるだけ少なくしましょう。

室内干しするときのコツ

衣類の種類や量、干しかたなどによって、部分的に乾きにくい場合があります。均一に乾かすために、衣類の並べかたや吹出口の向きを変えてください。

●洗濯物のシワをしっかりのばして干しましょう。
●つめすぎないで等間隔に並べましょう。
●重ねて干さないようにしましょう。
●薄手の衣類は端などに干し、厚手の衣類は吹出口の風がよく当たるところに干しましょう。
●吹出口と衣類の間は、40cm以上あけましょう。
●吹出口の風が衣類全体に行き渡るように、吹出口の角度や回転範囲を調節しましょう。（P.12・13参照）
●乾きにくい衣類は、吹出口が衣類に向くように、回転キーを押して回転を止め（スポットランプ点灯）、吹出口の風を直接当てると効果的です。（P.13参照）

乾いたら、なるべく早く取り込みましょう。雨の日などは乾燥しても干したままにしておくと、また湿気を吸収します。

4 運転のしかた

1 吹出部分を調節する

2 差し込みプラグをコンセントに確実に差し込む

3 入/切 キーを１回押す

●電源が「入」になり、初回は、「静音」モードで運転が開始され、吹出口が360 回転します。（静音ランプと360 ランプが点灯）

※2回目以降は、前回設定した運転と回転が開始されます。（前回設定した各ランプが点灯）
ただし、いったん差し込みプラグを抜いてから再度運転した場合は、「静音」で運転が開始され、吹出口が360 回転します。

●運転を開始すると、マイナスイオンが発生します。

4 運転モードを選ぶ

※P.10参照。

運転切替 キーを押すごとに、「静音」「自動」「衣類乾燥」「部屋カビガード」の順に切り替わり、各ランプが点灯します。

→静音→自動→衣類乾燥→部屋カビガード

除湿したいとき

運転切替 キーを押して、静音ランプ、または自動ランプを点灯させる。

※ふとん乾燥（別売）の場合は、P.14～16参照。

衣類乾燥したいとき

運転切替 キーを押して、衣類乾燥ランプを点灯させる。

カビを抑えたいとき

運転切替 キーを押して、部屋カビガードランプを点灯させる。

吹出口が回転しているときは、吹出部分を手で角度調節しないでください。調節するときは、必ず 回転 キーを押して、回転を止めて（スポットランプ点灯）から行ってください。（P.13参照）

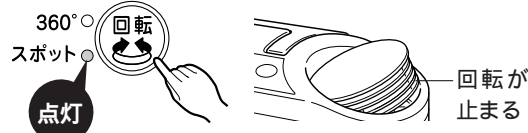
5 吹出口の回転を選ぶ

● 回転 キーを押すごとに、「360 回転」と「スポット（回転を止めて固定）」が切り替わります。
● 角度 キーで、回転する角度が自由に設定できます。

360 回転の場合

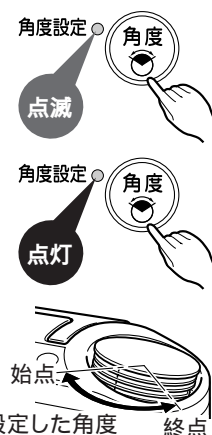
回転 キーを押して、360 ランプを点灯させる。時計回り、または、反時計回りで回転をはじめます。

スポット（回転を止めて固定）の場合

回転を止めたいところで、回転 キーを押して、スポットランプを点灯させる。

吹出部分が外を向いていない状態で回転を止めないでください。

回転する角度を設定する場合

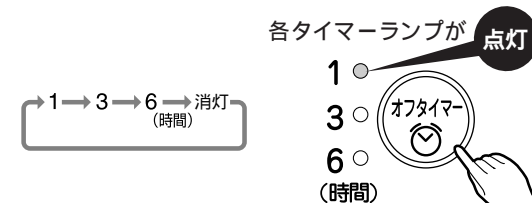
①360 回転中に、始点（ここから回転させたいというところ）で、角度 キーを1回押す。（角度設定ランプが点滅）

②終点（ここまで回転させたいというところ）で、角度 キーを再度押す。（角度設定ランプが点灯）
設定した角度で左右に回転します。

6 運転を停止したいときは、入/切 キーを１回押す

運転のランプが消え、約2分間、ヒーター冷却のため送風ファンが作動します。

差し込みプラグを抜いて、運転を停止しないでください。
差し込みプラグを抜くときは、運転を「切」にしてから約2分後、送風ファンが完全に停止してから抜いてください。

オフタイマーのセットのしかた

運転中は、オフタイマーがセットできます。（オフタイマーは1・3・6時間から選べます。）オフタイマーをセットすると、設定した時間経過後に運転が切れます。
12ページの要領で、運転モードを選んだ後、オフタイマー キーを押してください。押すごとに「1」・「3」・「6」・「消灯」の順に切り替わります。（1・3・6の各タイマーランプが点灯）

※オフタイマーなしの場合は消灯

※オフタイマーをやめたいときは、オフタイマー キーを押して、タイマーランプを消灯させてください。
※ふとん乾燥（別売）をするときは、オフタイマーを1時間にセットしてください。（P.16参照）

タンクが満水になったとき

満水/タンクなしランプが点灯し、自動的に運転を停止します。

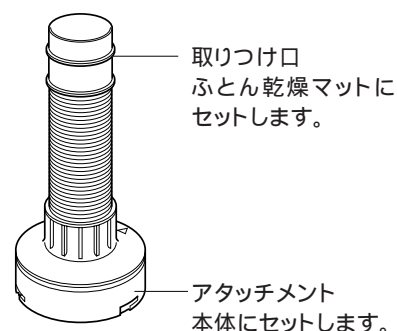
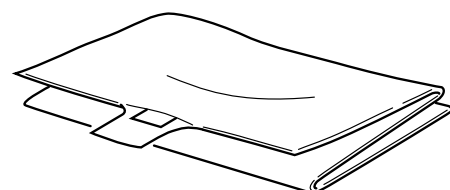
満水
タンクなし
点灯

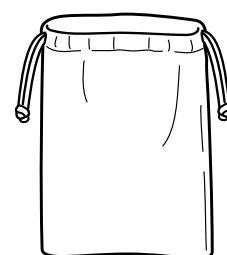
17ページの要領で、排水を行って空のタンクを本体に取りつけてください。満水/タンクなしランプが消灯します。

使いかた

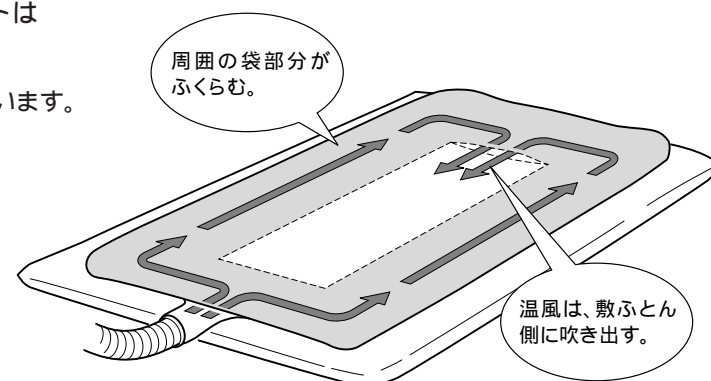
5 ふとん乾燥のしかた（別売）

この製品は、別売部品の「ふとん乾燥セット」のホースとふとん乾燥マットをセットして、ふとん乾燥をすることができます。
お買い求めになるときは、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口まで右記の品名・品番をご指定の上、お問い合せください。

品名	ふとん乾燥セット
品番	AHD-H100

●ホース　**●ふとん乾燥マット**　**●収納袋**

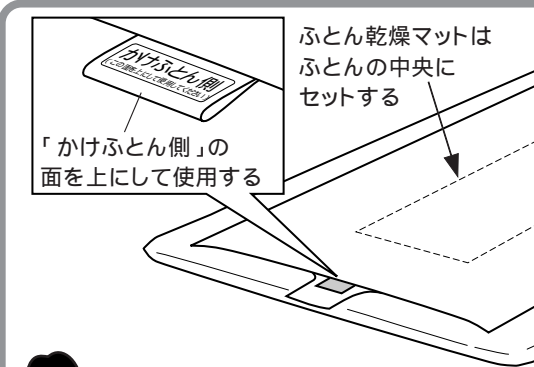
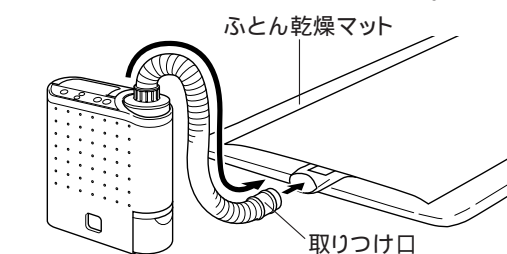
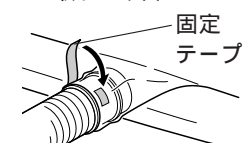
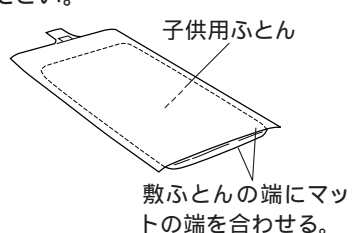
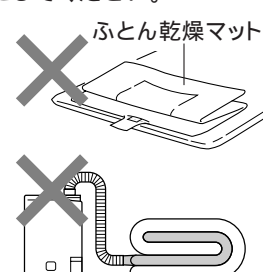
ホースとふとん乾燥マットを収納します。

〈ふとん乾燥マットのふくらみかたについて〉

ふとん乾燥運転時、ふとん乾燥マットは図のようにふくらみます。

※矢印は、温風の流れる方向を示しています。

※ふとんの大きさや種類によっては、すみずみまでふっくらと乾燥しないことがあります。
※ふとん乾燥をした後、乾燥が不充分な場合は、再度運転してください。
※ふとんの種類（羽毛・羊毛など）によっては、使用できない場合がありますので、ふとんの注意表示をご確認ください。
※スプリング式や通気性の高いマットレスでは使用できません。

1 吹出口をはずす （P.19参照）

2 ホースを本体に図のようにセットする

3 敷ふとんの上にふとん乾燥マットを広げる

4 ホースをふとん乾燥マットにセットする

●ホースの中にものを詰めたり、折り曲げて使わないでください。
●ふとん乾燥マットがねじれたり、折れたりしないようにしてください。
●ふとん乾燥マットは、折りたたんだまま使わないでください。
●ふとんを折りたたんで乾燥しないでください。

●電気毛布などは乾燥させないでください。

使いかた

5 かけふとんをかぶせる

ご注意　かけふとんの上に枕などのものをのせないでください。

6 差し込みプラグをコンセントに確実に差し込む

7 入/切 キーを１回押す

電源が「入」になります。

8 運転切替 キーを押して、「静音」を選ぶ

※押すごとに運転モードが切り替わり、各ランプが点灯しますので「静音」を選びます。

9 オフタイマー キーを押して、１時間を選ぶ（P.13参照）

※押すごとに「1」「3」「6」「消灯」が切り替わり、各ランプが点灯しますので、「1」を選びます。

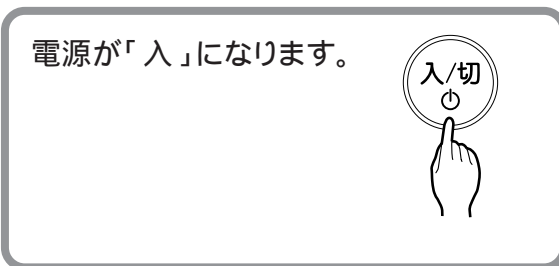
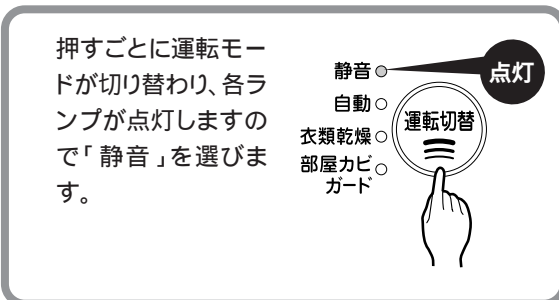
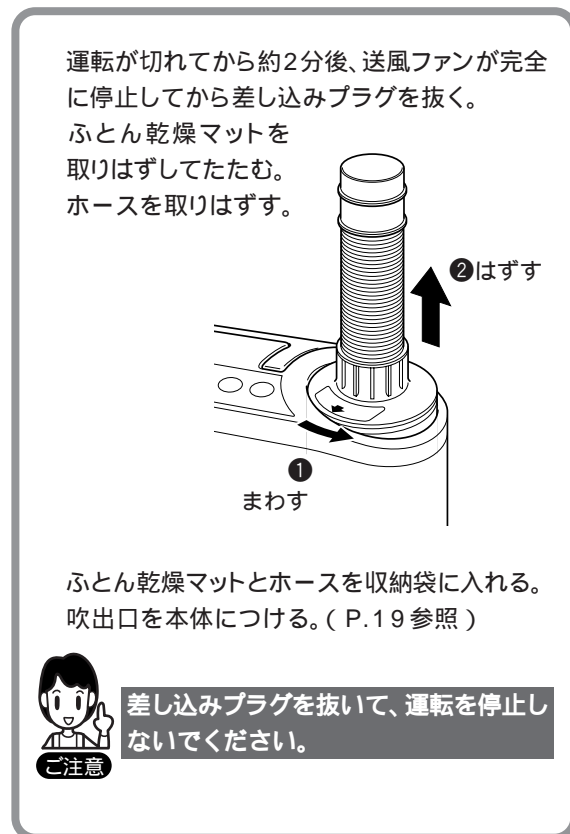
点灯
1
3
6
（時間）
オフタイマー

ご注意　ふとん乾燥中は、ふとんの上にのったり、ものをのせないでください。

10 使い終わったら

①運転が切れてから約2分後、送風ファンが完全に停止してから差し込みプラグを抜く。
②ふとん乾燥マットを取りはずしてたたむ。
③ホースを取りはずす。

④ふとん乾燥マットとホースを収納袋に入れる。
⑤吹出口を本体につける。（P.19参照）

ご注意　**差し込みプラグを抜いて、運転を停止しないでください。**

6 排水のしかた

タンクの除湿量が満水（約2.1L）になると、満水/タンクなしランプが点灯し、自動的に運転を停止しますので、下記の要領で排水を行ってください。
※「ふとん乾燥（別売）」後も、下記の要領で排水してください。

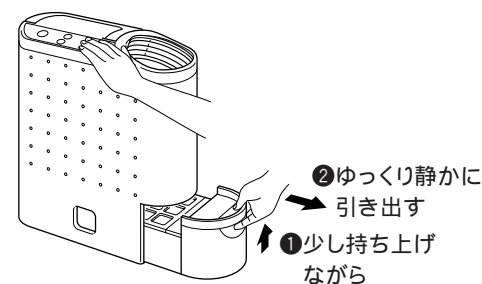
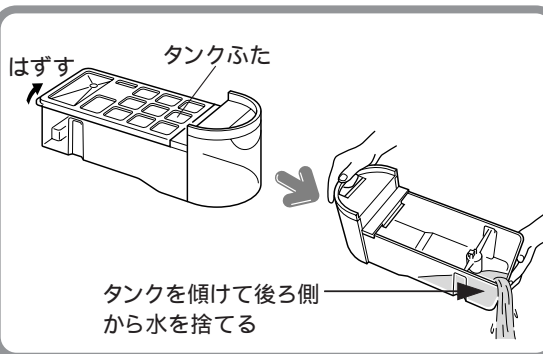
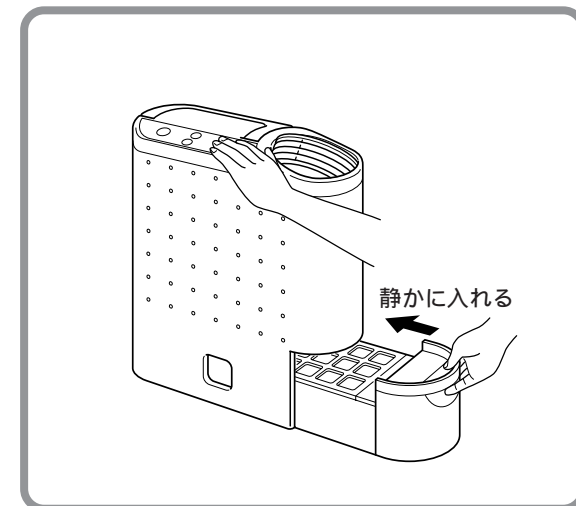
1 タンクを取り出す

タンクとっ手を持って、少し持ち上げながら、水がこぼれないように、ゆっくり静かに引き出す。
※水のたまったタンクは、必ず両手を添えて持ち運んでください。

2 タンクふたをはずし、水を捨てる

3 タンクに、タンクふたを確実に取りつける

4 タンクを本体に、静かに確実に取りつける

ご注意

- タンクふたは、必ずタンクに取りつけてください。水もれの原因になります。
- 本体内部の部品に触れないでください。故障などの原因になります。
- タンクの水をこぼさないようにご注意ください。
- 本体を移動させるときは、運転を「切」にし、必ず水を捨ててください。
- タンクは確実に取りつけてください。また、タンクに衝撃を与えるようなつけかたをしないでください。確実についていなかったり、衝撃を与えて取りつけた場合、満水/タンクなしランプが点灯し、運転しないことがあります。そのような場合は、一度タンクを取り出し、再度静かに取りつけてください。

7 お手入れのしかた

⚠警告	運転を「切」にして約2分後、運転が完全に止まってから、差し込みプラグを抜いてお手入れする。

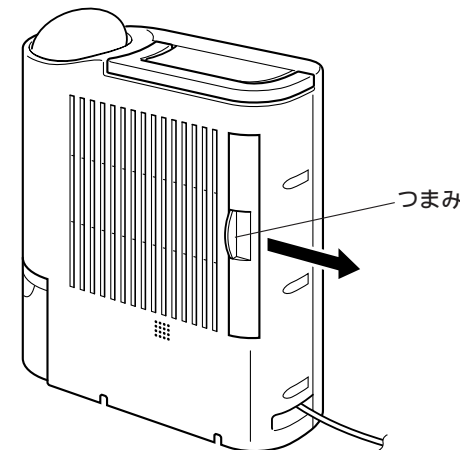
ご注意

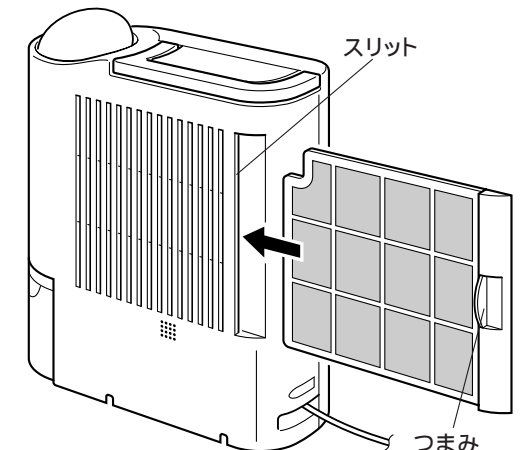
- シンナー・クレンザー・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなどは使わないでください。
- 40℃以上のお湯は使用しないでください。変形するおそれがあります。
- お手入れ後は、必ず本体にフィルター・タンク・タンクふた・吹出口を、確実にセットしてください。セットしないで使用した場合、故障・水漏れの原因になります。

各　部	お手入れのしかた
フィルター	**2週間に1回程度お手入れする。** **掃除機の細いノズルでほこりを吸い取る。** ※フィルターが目詰まりすると、除湿能力が低下して、故障の原因になります。 ご注意 フィルターは、水洗いしないでください。抗菌効果が低下します。
タンクふた タンク 軸 フロート	**2週間に1回程度お手入れする。** **①水またはぬるま湯で、やわらかいスポンジで流し洗いをする。** ※汚れが目立つときは、台所用合成洗剤で洗ってください。 ※フロートは、はずさずに洗い、軸の周辺の汚れも落としてください。 **②乾いたやわらかい布で水分をふき取り、充分に乾燥させる。** ご注意 フロートは絶対にはずさないでください。フロートがはずれたときは、軸を左図のように取りつけてください。はずれていると、運転しません。また、正しくついていない場合、水もれの原因になります。
吹出口 本体 ホース（別売）	**ぬるま湯、または台所用合成洗剤をうすめたお湯に、やわらかい布をひたし、かたくしぼってふいた後、乾いた布で充分にふき取る。** ご注意 ●本体・吹出口・ホース（別売）の丸洗いは、絶対にしないでください。 ●本体は寝かせないでください。
ふとん乾燥マット（別売） 収納袋（別売）	**洗たく用洗剤を入れたぬるま湯でかるく押し洗いし、かげ干しにする。** ご注意 ●洗濯機は使わないでください。 ●アイロンがけは絶対にしないでください。

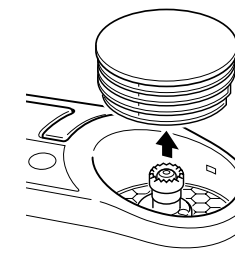
フィルターの取りはずし・取りつけ

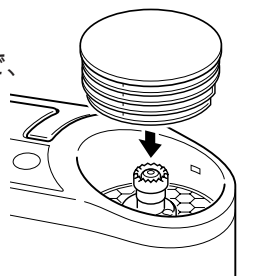
〈はずしかた〉

つまみを図のように引いてはずす。

〈つけかた〉

つまみを手前にして、本体のスリットに差し込む。

吹出口の取りはずし・取りつけ

〈はずしかた〉

図のようにはずす。

〈つけかた〉

「カチッ」と音がするまで、確実にはめ込む。

長期間使用しないときは

①タンクの水を捨てる。（P.17参照）

②タンク・タンクふたを本体にセットし、本体を前後に、ゆっくり静かに数回傾けて本体内に残った水を落とし、再度タンクの水を捨てる。

③各部のお手入れをする。（P.18参照）

④本体に、吹出口・タンク・タンクふた・フィルターをセットし、ポリ袋などをかぶせる。

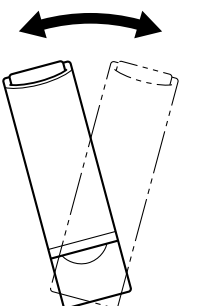
※別売のふとん乾燥マットは、たたんで、ホースと一緒に収納袋に入れてください。

⑤湿気が少なく風通しの良い場所に収納する。（本体は立てた状態で保管する。）

前後に、ゆっくり静かに数回傾けて、本体内に残った水を落とす

ご注意

- 本体を前後に傾けて本体内に残った水を落とすときは、激しく揺らさないようにしてください。故障の原因になります。
- 保管するときは、本体を立てた状態で、水平な場所に保管してください。寝かせたり、傾けたりして保管すると、故障の原因になります。

使いかた

修理を依頼する前に、次の点をお調べください。
下記の点検・処置をしても改善されないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

全LEDランプが点滅して運転が停止したときは、22ページを参照してください。

⚠ 警告	修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない。

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください	参照ページ
運転しない	差し込みプラグが抜けていませんか。	差し込みプラグをコンセントに確実に差し込んでください。	12・16
	満水/タンクなしランプが点灯していませんか。	タンクの水を捨ててください。	17
	タンクが正しく確実に取りつけられていますか。	タンクを正しく確実に取りつけてください。	17
運転途中で電源が切れて運転しない	36時間を超えて、運転を続けていませんか。	運転時間が36時間を超えると、安全のため運転を停止します。引き続き運転する場合は、以下の手順で行ってください。 ①差し込みプラグを抜く。 ②17ページの要領でタンクの水を捨てる。 ③再度、差し込みプラグをコンセントに差し込み、キー操作を行う。	10・12・13・17
	オフタイマーをセットしていませんか。	オフタイマーをセットした場合、設定した時間経過後に自動的に運転が切れます。	13・16
満水ではないのに、満水/タンクなしランプが点灯する	タンクが正しく確実に取りつけられていますか。	タンクを正しく確実に取りつけてください。	17
	タンクを取りつけるときに、衝撃を与えていませんか。	一度タンクをはずし、再度、つけなおしてください。	17
	タンクのフロートがはずれていませんか。	フロートを正しく取りつけてください。	18
運転音が大きい	フィルターが目詰まりしていませんか。	フィルターのお手入れをしてください。	18・19
	本体の置きかたが悪く、ガタついていませんか。	本体は、ガタつきのないように設置してください。	9
	本体を水平な場所に設置していますか。	本体は、水平で丈夫な床に設置してください。	9
運転を開始しても温風が出ない・吹出口からの風の温度が変わる	吹出口を閉じたり、吹出口がふさがっていませんか。	安全装置が作動して送風ファンだけが作動します。	—
	本体付近の温度が上がっていませんか。	安全装置が作動して送風ファンだけが作動します。	—
	「自動」「部屋カビガード」モードで運転していませんか。	「自動」「部屋カビガード」モードは、湿度に応じて自動的に運転を調整しますので、送風ファンだけが作動することがあります。	—
除湿量が少ない(タンクになかなか水がたまらない)	フィルターが目詰まりしていませんか。	フィルターのお手入れをしてください。	18・19
	吸込口・吹出口がふさがっていませんか。	吸込口・吹出口がふさがっていない状態で運転してください。	—
	部屋の温度・湿度が低くありませんか。	部屋の温度・湿度が低くなるにつれ、除湿量が少なくなります。	10・11
	吹出部分が外を向いていない状態で、吹出口の回転を止めていませんか。	吹出部分が外を向いた状態で、回転を止めてください。	13
水がもれる	本体を倒したり、傾けたりしていませんか。	本体を倒したり、傾けて使用しないでください。	—
	タンクに水を入れたまま、本体を移動させていませんか。	本体は、タンクの水を捨ててから移動させてください。	7
	フロート・タンク・タンクふたがはずれていませんか。	フロート・タンク・タンクふたを確実にセットして使用してください。	17・18
	フロートに異物がついていませんか。	フロートのお手入れをしてください。	18
湿度が下がらない	除湿可能面積よりも広い場所で使用していませんか。	除湿可能面積以内の場所で使用してください。	22
	窓や出入口の開閉を多く行っていませんか。	窓や出入口の開閉を多く行わないようにしてください。	11
	燃焼時に水分が発生するような機器(石油ストーブなど)を使用していませんか。	燃焼時に水分が発生するような機器(石油ストーブなど)と一緒に使用しないでください。	—
においがする・においが取れにくい	各部が汚れていませんか。	各部のお手入れをしてください。	18・19
	使いはじめたばかりではありませんか。	使いはじめのうちは樹脂などのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。	—
	新築や改築直後の塗装や壁紙、新しい家具などから異臭が発生する部屋で使用していませんか。	吸い込んだにおいが本体から再放出することがあります。そのような場合は、異臭の発生しない部屋で、「自動」運転モードで2〜3時間運転してください。	12・13
運転中に周囲の温度が上がる・本体が熱くなる	本製品はゼオライト方式でヒーターの熱を利用しているため、室温が約3〜8℃上がることがありますが、異常ではありません。		3・11
白い粉が出る	本体に衝撃を与えたり、倒したりしていませんか。	本体内部のゼオライトが欠けて粉状になったものです。しばらくすると出なくなります。それでも白い粉が出続ける場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	3
運転中に金属がこすれるような異音がする	本体に衝撃を与えたり、倒したりしていませんか。	お買い上げの販売店にご相談ください。	—
マイナスイオンが出ない	マイナスイオンは見えませんが、運転を開始すると出ています。		12
運転を「切」にしても、送風ファンが動いている	運転を「切」にしてから2分以上経過していますか。	運転を「切」にしてから約2分間は、ヒーター部冷却のため送風ファンが作動しています。	13・16
タンクが取り出せない	少し持ち上げながら引き出していますか。	タンクとっ手を持って、少し持ち上げながら、水がこぼれないように、ゆっくり静かに引き出してください。	17
タンクが本体に取りつけられない	タンクふた・フロートが正しくセットされていますか。	タンクふた・フロートを正しくセットした後、タンクを本体に取りつけてください。	17・18
ふとん乾燥マットがふくらまない・ふとん乾燥をしたのに乾燥していない ※ふとん乾燥(別売)で使用時	ホースのアタッチメントが本体に確実にセットされていますか。	ホースのアタッチメントを本体に確実にセットしてください。	15
	ホースをとめる固定テープがゆるんでいませんか。	ホースをふとん乾燥マットに、固定テープでしっかりとめてください。	15
	ホースの中にものを詰めていませんか。	詰まっているものを取り除いてください。	15
	ホースを折り曲げて使っていませんか。	ホースを折り曲げて使わないでください。	15
	ふとん乾燥マットの向き(上下)は正しいですか。	正しい向きにセットしてください。	15
	ふとん乾燥マットが折れたり、ねじれたりしていませんか。	折れ曲がりやねじれをなおしてください。	15
	ふとん乾燥マットやかけふとんの上に、ものをのせていませんか。	ものをのせて使用しないでください。	16
	ホース・ふとん乾燥マットが破れたり、損傷していませんか。	お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口までご相談ください。	—

9 全LEDランプが点滅したときは

全LEDランプが点滅して運転が停止したときは、下記の点検・処置をしてください。それでも直らない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ここを確認して	こう処置してください
吹出口・吸込口がふさがっていませんか **フィルターが目詰まりしていませんか**	吹出口・吸込口がふさがっていると、内部の温度が上がり、安全装置が作動して運転が停止し、全LEDランプが点滅します。このような場合は、以下の手順で処置してください。 ①送風ファンが完全に停止してから差し込みプラグを抜く。 ②吹出口・吸込口をふさがない状態にする。フィルターが目詰まりしている場合は、フィルターのお手入れをする。 ③本体が充分に冷めていることを確認する。 ④再度、差し込みプラグをコンセントに差し込み、キー操作を行う。
運転中に本体を倒していませんか	運転中に本体を倒した場合、安全装置が作動して運転が停止し、全LEDランプが点滅します。このような場合は、以下の手順で処置してください。 ①差し込みプラグを抜く。 ②すぐに本体を起こす。 ③水もれした場合は、お手入れする。 ④再度、差し込みプラグをコンセントに差し込み、キー操作を行う。
本体が熱くなっていませんか	長時間使用などで本体が熱くなった場合、安全装置が作動して運転が停止し、全LEDランプが点滅します。このような場合は、送風ファンが完全に停止してから差し込みプラグを抜いて、本体が充分に冷めたことを確認してから、再度、差し込みプラグをコンセントに差し込み、キー操作を行ってください。

仕様

項目		50Hz	60Hz
電源		100V 50/60Hz	
		50Hz	60Hz
定格除湿能力	静音・部屋カビガード	2.8 L/日	2.9 L/日
	自動･衣類乾燥	5.8 L/日	6.0 L/日
消費電力	静音・部屋カビガード	260 W	
	自動･衣類乾燥	515 W	
除湿可能面積の目安		木　　造：12m²（7畳） プレハブ：18m²（11畳） 鉄　　筋：23m²（14畳）	
マイナスイオン量		約10000個/cm³（マイナスイオン発生方法：放電式）	
タンク容量		約2.1L（自動停止容量）	
外形寸法	幅	約37.0cm	
	奥行	約16.4cm	
	高さ	約46.4cm	
質量		約5.6kg	
コードの長さ		1.5m	

※「切」の状態での消費電力は約0.4Wです。
※消費電力は、電圧100V・室温30℃・湿度60%での平均電力（約）です。（「静音」「部屋カビガード」時の最大出力は約505W。）
※定格除湿能力は、室温20℃・相対湿度60%を維持した部屋で連続運転したときの1日あたりの除湿量です。
※除湿可能面積の目安は、JEMA（日本電機工業会）規格に基づいた数値です。
※マイナスイオン量は、6畳にて「衣類乾燥」「部屋カビガード」「自動」の各運転時、本体吹出口より吹出し方向に1mでの数値です。
　また、マイナスイオン量は、使い始めてから数日後の数値です。ただし、使用環境（湿度・室温・空気の汚れなど）により異なります。
（当社試験室、室温20℃・相対湿度60%にて、当社イオン測定器による測定値結果。）

停電があったとき

万一、運転中に停電があった場合は、運転が停止します。再び通電された後に運転する場合は、以下の手順で行ってください。
①差し込みプラグを抜く。
②再度、差し込みプラグをコンセントに差し込み、キー操作を行う。